

# おおてみち

第62号

平成20年(2008年)1月15日  
滋賀県立安土城考古博物館

開館15周年記念  
第35回企画展

## 信長と安土城

— 収蔵品で語る戦国の歴史 —

会期 平成20年1月19日(土)  
~ 3月30日(日)

60

収藏品―それは、博物館が展示や普及や研究など全ての仕事を行っていく際に、最も基本になるものです。恥ずかしながら、平成四年に当館が開館した際、一方のテーマである織田信長や城郭に関する収藏品は、数えるほどしかありませんでした。それから一五年、当館では購入や復元模写製作を行い、また所蔵者の皆さんから資料のご寄託をうけ、収藏品を充実させてきました。特別史跡安土城跡の発掘調査で出土した多くの遺物も、常設展示で披露しています。

しかしながらこれまで、これらの収藏品を一度に公開する機会に恵まれませんでした。このたび、開館一五周年を記念して、これらの収藏品をできる限り用いて、戦国時代や織田信長、城郭の歴史を、大々的に皆さまに紹介したいと思えます。展示する資料は二百点以上。企画展示室と第二常設展示室を両方使い、頻繁に展示替えを行って、より多くの資料を展示していきます。

鎌倉時代以来四百年間近江で覇権を握ってきた六角氏と親音寺城、安土城を拠点に天下統一を目指した織田信長の事績、本能寺の変後の天下の行方、佐々木氏や信長に関わった近隣の寺院―徳見寺・浄厳院・長命寺・永安寺、曹源寺の什物など、多彩な資料から近江の歴史をご紹介します。

### 主な展示資料

(○は重要文化財、□は県指定文化財、△は市町村指定文化財)

- 鉄罫―水雲銭無紋銀象眼―  
織田信長画像 (徳見寺蔵)
- 浅井長政夫人画像・織田信忠像  
織田信長朱印状・織田信長朝礼 (安土町浄厳院蔵)
- 黒水版大般若經 (安土町正禪寺蔵)
- 六角氏式目 (個人蔵)
- 左右神社文書 (竜王町左右神社蔵)
- 長命寺文書 (近江八幡市長命寺蔵)

### 関連行事

#### ●博物館講座「信長文書を読む」

日 時：平成二〇年一月二〇日(日)

午後一時三〇分～午後三時

講 師：高木敦子(当館学芸課主任)

#### ●博物館講座「絵図・地図で見る今昔」

日 時：平成二〇年二月一七日(日)

午後一時三〇分～午後三時

講 師：神保忠宏(当館学芸課主任)

※いずれも会場は当館セミナールーム  
定員は一四〇名 (当日先着受付順、参加無料)

#### ●史跡案内「願所郷下町を歩く」

日 時：平成二〇年三月九日(日)

午後一時～

(要予約 現地集合・解散)

## (財)滋賀県文化財保護協会調査整理課通信

### 「あの遺跡は今! パート6」

―埋蔵文化財発掘調査成果報告会―

この企画は、県内遺跡の発掘調査で出土した土器などの整理調査成果を公開する催しで、平成一七年度から実施しています。

当日は調査成果の報告会のほか、整理作業の様子や出土品の特別公開、出土品に直接触れながらの整理作業やレブリカ制作が体験できる企画を用意しています。埋蔵文化財の調査成果や出土品を間近に見学し体験していただくことで、滋賀の歴史を体感し、文化財への親しみと理解を深めていただける機会として、これまで多くの方々にご好評いただいている催しです。

日時 平成一九年二月二十四日(日)

午前九時～午後五時

会場 当館セミナールーム・整理室ほか

内容 ◇調査成果報告会「遺跡出土の文字資料」

(午後一時～三時・定員一四〇名・当日受付)

◇野洲市西河原宮ノ内遺跡、大津市浮御堂遺跡・関津遺跡の調査

成果の報告。

◇出土品レブリカ制作体験

(午前十二時～午後三時三十分・定員各二〇名・事前申込制・有料)

◇「木簡」などのレブリカ制作体験。

◇「人形」などのレブリカ制作体験。

◇整理作業室特別公開・出土品展示

◇整理作業体験

◇整理作業体験のみ有料

参加 無料(レブリカ制作体験のみ有料)



## 収蔵資料紹介

### 西国城郭図巻

江戸時代写  
高二六・六cm

「西国城郭図巻」とは、この資料のためにつけられた名称で、その内容は「主国合結記」の第八巻（山陰道・山陽道）に該当します。「主国合結記」とは、日本国内にある城郭の縄張り図と城主の変遷を五畿七道別にまとめたもので、数種の異本が存在します。

本資料は山陰道の九城（篠山・龜山・宮津・田辺・出石・津和野・浜田・鳥取・松江）と山陽道の一二城（明石・竜野・赤穂・姫路・津山・岡山・備前松山・福山・徳山・広島・萩・府中〔長府〕）が掲載されています。そのうち、出石・浜田・竜野・津山・徳山は明らかに虚構の縄張りになっています。

原資料と考えられる「主国合結記」と比較してみると、本資料は巻物になっていて、大きく異なります。しかし、詳細に観察すると図の隅に糸綴の跡と思われる穴が数ヶ所残っていて、元来は綴じた本だったと考えられます。また、「主国合結記」の山陰道の巻では、最初に紹介されるはずの福知山と、篠山の城主記を欠くなどの混乱が認められます。



掲載写真は石見国津和野（今の鳥根県津和野町）の絵図で、山上にある城郭と山麓にある居館の縄張りをごく簡単に描いています。津和野川と思われる川の流れがやや異なるものの、縄張りは比較的正しく描かれています。このように部分的な誤りはあるものの、江戸時代に築かれた城の絵図を一覧できる格好の資料と言えるでしょう。（神保忠宏）

### 安土城郭調査研究所通信

#### 百々橋―大手口の警備路に未知の虎口発見

今年度は、百々橋と大手西側虎口までの町道沿いの郭の環境整備工事を行う計画で、整備工事をする部分の発掘調査を行っています。今回、その中間に位置するところで新たな虎口と門の跡、虎口内にあつて上段の郭に登る石段遺構が見つかりました。

平成一四年度の遺構確認調査で、百々橋から大手までの町道沿いの郭の石垣沿いには溝があり、内堀との間に陸路があることが分かっています。郭の石垣で城の内外を画し、城下町の住民をはじめ誰でも大手口まで通行できたと考えていました。

しかし、今回見つかった虎口の門は城の外郭防壁の面では劣る簡易な構造であることが明らかになりました。大手までの道中に防御性が低い虎口が見つかったことから、この虎口が面している陸路は城外路と考えるには困難な状況となり、改めて城内路となる可能性も含めて安土城の防御性や城の外郭について再検討を要する結果となりました。



## 博物館の主な催し

4 月	3 月	2 月	1 月	月
1月19日～3月30日 第35回企画展 「信長と安土城—收藏品で語る戦国の歴史—」				展示
<p>27日(日) 春のお茶会(当日交代、約100名) 時間：午前10時30分～午後3時 場所：高松エントランスホール 参加費：30円(実費)</p> <p>4月26日(土) 16日(日) 春のお茶会 【仏法の始め、これより作れり—古墳から古代寺院へ—】 春のお茶会</p>	<p>9日(日) 史跡案内「藤原下町を歩く」(講義者：榎本 誠、講師：榎本 誠) 定員：50名 (往復バス代3月1日までに申し込むが必要) 時間：午後1時～ 集合：JR長尾駅前(徒歩5分) 参加費：無料(交通費、入館料は各自負担)</p> <p>2日(日) 企画展キヤワリートーク 時間：午後1時30分～ 場所：企画展示室</p>	<p>24日(日) 増田文化財調査委員会 春の講演会 この企画のみ調査委員へお問合せ下さい。 0748-14614861</p> <p>17日(日) 博物館講座「絵巻・地図で見る今昔」(当日交代、140名) 講師：神原 志宏(高松学芸館主任) 時間：午後1時30分～午後3時 場所：高松セミナールーム(無料)</p> <p>30日(日) 企画展キヤワリートーク 時間：午後1時30分～ 場所：企画展示室 企画展担当の先生が案内します</p>	<p>20日(日) 博物館講座「信長文書を読む」(当日交代、140名) 講師：高木 敏子(高松学芸館主任) 時間：午後1時30分～午後3時 場所：高松セミナールーム(無料)</p>	博物館の行事

### 安土城考古博物館は

### 開館一五周年を迎えました

滋賀県立安土城考古博物館が、近江風土記の丘に開館したのは平成四年(一九九二)一月です。以来、常設展示のリニューアルや入館者総数八〇万人を経て、平成一九年に開館一五周年を迎えました。

これをうけて、当館では平成一九年度を「開館一五周年記念」と位置づけて展覧会を開催しましたが、最大の企画として、平成一九年一月三日に安土町文芸セミナーヨにおいて記念講演会をおこないました。

はじめに、セミナーヨに備え付けられた巨大なパイプオルガン説明と、重厚な曲の演奏がありました。その後、「織田信長の時代」という演題で、大阪大学名誉教授の織田修先生のご講演が行われました。織田先生は、時折ご研究時のエピソードを披露されながら、織田信長と彼の活躍した時代について、わかりやすく解説され、盛況の内に終了しました。

さらに第三五回企画展では、一五年間にわたって寄託や収集をおこなった二百点あまりの収蔵資料の展示を行います。

一五年の節目を経た当館は、今後も近江風土記の丘の中核施設として活動を行ってまいりますので、ご来館をお待ちしております。



織田 修 先生

おおてみち 第62号  
平成20年(2008年)1月15日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館  
〒521-1311 滋賀県蒲生郡安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424  
E-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp